Canon Satera LBP8630/LBP8620/LBP8610

かんたん設置ガイド

最初にお読みください。
ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

プリンターの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。➡ P.8
設置を始める前によくお読みください。

Step 1 設置準備

同梱品がそろっているか確認する

不足しているものや破損しているものがあったときは、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- プリンター
  次のものが取り付けられています。
  - 給紙カセット
- トナーカートリッジ
- 電源コード
- LIPS V User Software CD-ROM
  次のものが収められています。
  - プリンタードライバー
  - ユーティリティーソフト
- 取扱説明書CD-ROM
  次のものが収められています。
  - ユーザーズガイド
  - LIPS機能ガイド
  - ネットワークガイド/本編
  - リモートUIガイド
- フェライトコア
- 保証登録のお願い
- ポケットガイド
- かんたん設置ガイド（本書）

設置する際は、ユーザーズガイドもあわせてお読みください。

LANケーブルやUSBケーブルは付属していません。
USBケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

設置場所を決める

温度／湿度条件
- 温度範囲：10～32.5 ℃
- 湿度範囲：20～80 %RH
  （相対湿度・結露しないこと）

電源条件
- AC100 V ± 10 %、15 A以上
- 50/60 Hz ± 2 Hz

設置条件
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンターの質量に耐えられる十分な強度のある場所

以下の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください。

ペーパーフィーダー（3台）+両面ユニット装着状態

Step 2 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ

梱包材を取り外す

＊ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1. テープを取り外す
2. レバーを押しながら、前カバーを開ける
3. 梱包材を取り外す

P.2に続く

FT5-3163 (020)　　XXXXXXXXXX　　PRINTED IN JAPAN

4. テープを取り外す
5. トナーカートリッジを取り出す
6. 保護シートを取り外す
7. 5～6 回振る
8. 平らな場所に置き、タブを折る
9. シーリングテープを引き抜く

約 75 cm

曲げて引いたり、上向きや下向きに引っぱらない

10. 正しく持つ
11. トナーカートリッジを取り付ける

止まるまで差し込む

12. 前カバーを閉める
13. 給紙カセットを引き出す

止まる位置まで引き出し、手前を持ち上げて取り外す

14. テープ付き梱包材を取り外す
15. 梱包材を回して取り外す

ここでは、まだ給紙カセットをセットしないでください。

Check!

梱包材はすべて取り外しましたか？

捨てずに保管する
（移転や移設、修理などのプリンター輸送時に必要になります。）
- テープ ×6
- テープ付き梱包材 ×1
- テープ付き梱包材 ×1
- 梱包材 ×1
- 保護シート ×1
- 梱包材 ×1

地域の条例にしたがって処分する
- シーリングテープ ×1

ペーパーフィーダーを取り付けて使用するとき

プリンターを設置場所に運ぶ前にペーパーフィーダーを設置してください。

ペーパーフィーダーを取り付ける ➡ P.6

次のオプション品の取り付け方法については、ユーザーズガイドをご覧ください。
- RAM
- ROM
- インテリジェントコントローラーNB-J2
- 内蔵型無線プリントサーバーNB-W2

ペーパーフィーダーを取り付けないで使用するとき

プリンターを設置場所に運んでください。

2人以上で、設置場所に運ぶ

運搬用取っ手の中央部に手を掛けて運ぶ

Step 3 給紙カセットに用紙をセットする

A4サイズの用紙をご用意ください
Step5で、動作の確認のためステータスプリントを印刷します。ステータスプリントはA4サイズ用に設定されていますので、ここでは、A4サイズの用紙をセットしてください。

1. セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動する
   ロック解除レバーをつまみながら調整する
2. 用紙を後端の用紙ガイドに合わせてセットする
   印刷面を下にする
3. 用紙をツメの下に入れる

Check!
積載制限マークの線を超えないようにセットしてください。
▼▼▼ ← ここまで

4. スイッチを合わせる
5. ダイヤルを回して用紙サイズを合わせる

Check!
用紙サイズ設定スイッチは、セットした用紙のサイズによって合わせる位置が異なります。
- A3、B4、A4、A4R、B5、A5の場合
- レジャー（11×17）、リーガル、レター、レターR、エグゼクティブ、ユーザー設定用紙の場合

6. 給紙カセットをセットする
   斜めに差し込み、水平に押し込む

Step 4 電源コードとアース線を接続する

両面ユニットを取り付けるときは
電源コードとアース線を接続する前に両面ユニットを取り付けてください。➡ P.7

1. 電源がオフになっていることを確認する
2. 電源コードを差し込む
3. アース線のキャップを外して、専用のアース線端子に接続する
4. 電源コンセントに差し込む

Step 5 プリンターの動作を確認する

1. 電源をオンにする
   しばらくするとディスプレーに「印刷できます。」と表示され、印刷可能な状態になります。
2. オンラインになっていることを確認する
   オンライン状態になっていない場合、[オンライン]キーを押します。
3. [ユーティリティー]キーを押す
4. [▲]、[▼]で「共通ステータスプリント」を選択して OK を押す
5. [▼]で「はい」を選択して OK を押す
   ステータスプリントが印刷されます。

Step 6 プリンターとコンピューターを接続する

USB接続の場合

1. 電源をオフにする
2. 四角い側（Bタイプ）をプリンターに接続する
3. 平たい側（Aタイプ）をコンピューターに接続する

ここではまだプリンターの電源は入れないでください。
電源は、プリンタードライバーのインストール中に入れます。

LAN接続の場合

1. フェライトコアを取り付ける
   5cm以内
   プリンターに接続するコネクタ
2. LANケーブルを接続する
3. TX/RXランプが点滅していることを確認する
   100ランプ
   10ランプ
   TX/RXランプ
   - 10BASE-Tの場合は、10ランプも点灯します。
   - 100BASE-TXの場合は、100ランプも点灯します。

続いて、操作パネルでプリンターのプロトコル設定を行います。

※[戻る]キーを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

Check!

DHCP、BOOTP、RARPを使用するとき
- DHCP、BOOTP、RARPはいずれか 1 つのみ選択することができます。
- DHCP、BOOTP、RARPを使用可能かどうかのチェックは、2 分程度かかりますので、使用しない場合は設定を「オフ」にしておくことをおすすめします。

DHCPを使用するとき
- プリンターの電源を入れなおすと、印刷できなくなることがあります。これは、今まで使用していたIPアドレスとは異なるIPアドレスが割り当てられたためです。
  DHCPを使用するときは、ネットワーク管理者にお問い合わせの上、次のいずれかの設定を行ってください。
  - DNS動的更新機能の設定をする（→ネットワークガイド）
  - プリンタの起動時に常に同じIPアドレスを割り当てるように設定する（→ネットワーク管理者）

「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の入力方法
① [◀]、[▶]を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）に移動します。
（フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。）
② 数値を入力します。（[▲]を押すと数値が増え、[▼]を押すと数値が減少します。）
③ すべてのフィールドの数値を入力したら、OK を押して確定します。

1. [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「標準ネットワーク」を選択し、OK を押す
   メッセージが表示されたら、OK を押します。
2. [▲]、[▼]で「TCP/IP設定」を選択し、OK を押す
3. [▲]、[▼]で「IPv4設定」を選択し、OK を押す
4. IPアドレスの設定方法を選択する
   ① [▲]、[▼]で「IPモード」を選択し、OK を押す
   ② [▲]、[▼]でIPアドレスの設定方法を選択し、OK を押す
   「自動」：DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用してIPアドレスを設定する場合に選択します。
   「手動」：プリンターに直接IPアドレスを割り当てる場合に選択します。
5. IPアドレスを設定する
   手順4で「自動」を選択したとき
   ① [▲]、[▼]で[プロトコル]を選択し、OK を押す
   ② IPアドレスの設定に使用する項目を「オン」に設定する
   ③ 必要に応じて、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを手動で設定する
   [戻る]キーを押してメニューの階層を戻り、手順4で「手動」を選択したときの操作を行います。
   ④ 手順6に進む
   手順4で「手動」を選択したとき
   ① [▲]、[▼]で[IPアドレス設定]を選択し、OK を押す
   ② 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定する
   ③ 手順6に進む
6. プリンターの電源を入れなおす
   プリンターの再起動後に設定が有効になります。

その他のプロトコルの設定（DNSやWINSなど）の設定手順は、本プリンターに付属の「取扱説明書CD-ROM」に収められているネットワークガイド／本編に記載してあります。

取扱説明書CD-ROM

P.5へ

Step 7 プリンタードライバーをインストールする

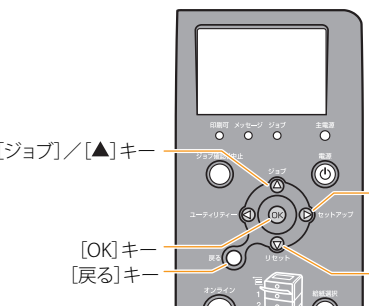
LIPS LXとLIPS4プリンタードライバーの違い

LIPS LX

印刷データの処理をコンピューターとプリンターで負荷分散することによって、従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリーでの動作が可能です。

LIPS4

ドライバー上でのフォームオーバーレイ機能、TrueTypeフォントの置き換え機能など、従来のドライバーに実装されていた機能を使用することが可能です。

USB接続でインストールするときは

USB接続の場合、インストールするプリンタードライバー（「LIPS LX」または「LIPS 4」）の種類と、操作パネルの「PDL選択(PnP)」の設定が異なると、プリンタードライバーを使用できません。プリンターの操作パネルで「PDL選択(PnP)」の設定を行ってください。

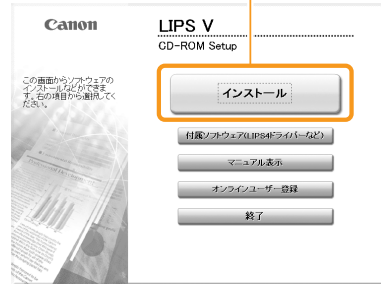
※[戻る]キーを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

「PDL選択(PnP)」の設定方法

1. [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「拡張機能」を選択し、OK を押す
2. [▲]、[▼]で「PDL選択（PnP）」を選択し、OK を押す
   メッセージが表示されたら、OK を押します。
3. [▲]、[▼]で使用するプリンタードライバー（「LIPS LX」または「LIPS 4」）を選択し、OK を押す
4. プリンターの電源を入れなおす
   プリンターの再起動後に設定が有効になります。

1. コンピューターの電源をオンにする

2. 付属のCD-ROM「LIPS V User Software CD-ROM」をセットする

3. クリック

LIPS4プリンタードライバーをインストールするとき
[付属のソフトウェア（LIPS4ドライバーなど）]をクリックしたあと、[インストール]をクリックしてください。

以降、画面の指示にしたがって操作してください。

操作方法で不明な点があるとき

プリンタードライバーのインストール方法の詳細は、本プリンターに付属の「LIPS V User Software CD-ROM」に収められている取扱説明書に記載してあります。

プリンターのセットアップが終了しました

ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

Option ペーパーフィーダーを取り付ける

ペーパーフィーダーをあとから設置するときは、「オプション品をあとから設置するとき」を読んでから設置してください。 P.7

ペーパーフィーダー

1. ペーパーフィーダーを箱から取り出す

2. 各部のテープやテープ付き梱包材を取り外す

背面左側の梱包材

背面右側の梱包材

正面の梱包材

3. 給紙カセットを引き出す

止まる位置まで引き出し、手前を持ち上げて取り外す

4. 各部のテープやテープ付き梱包材を取り外す

5. 後端の用紙ガイドを移動する

ロック解除レバーをつまみながら調整する

6. テープを取り外し、テープ付き梱包材を取り外す

7. テープ付き梱包材を取り外す

8. 設置場所に運ぶ

運搬用取っ手を持って運ぶ

9. カセット保護カバーを取り付ける

Check!

梱包材はすべて取り外しましたか？

- テープ ×3
- テープ付き梱包材* ×10

* 形状は、梱包材ごとに異なります。

ペーパーフィーダーを複数台取り付けるときは

手順10～12を繰り返してください。1台のみ取り付ける場合は手順13に進みます。

ペーパーフィーダーは最大3台まで取り付けることができます。

10. ペーパーフィーダーをゆっくりと載せる

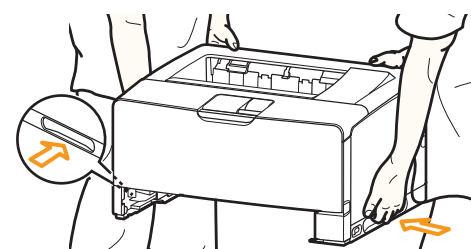
11. 付属の4本のネジで固定する

12. カセット保護カバーを取り付ける

プリンター本体

13. 2人以上で、設置場所に運ぶ

運搬用取っ手の中央部に手を掛けて運ぶ

14. プリンターをペーパーフィーダーにゆっくりと載せる

続いて、次の手順にそって作業を進めます

Option 両面ユニットを取り付ける

両面ユニットをあとから設置するときは、「オプション品をあとから設置するとき」を読んでから設置してください。

オプション品をあとから設置するとき（プリンターをすでに使用しているとき）

1. コンピューターの電源を切る
2. プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外す

* 接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

電源コード

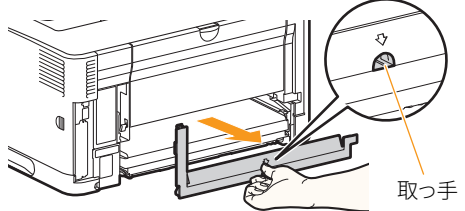
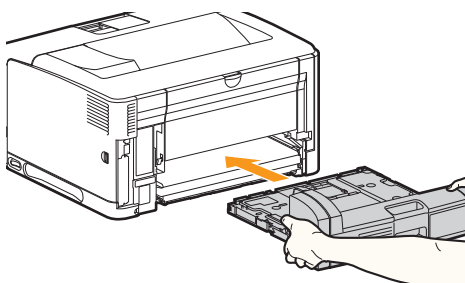
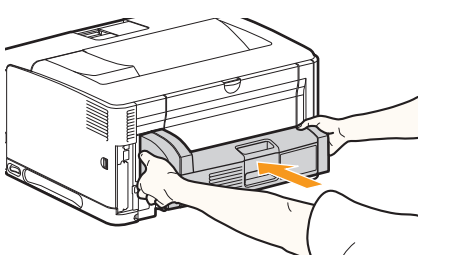
① 電源プラグを抜く
② アース線を取り外す
③ プリンターから抜く

ペーパーフィーダーを取り付けるときは

プリンターの給紙カセットを引き出してから、ペーパーフィーダーの取り付けを行ってください。

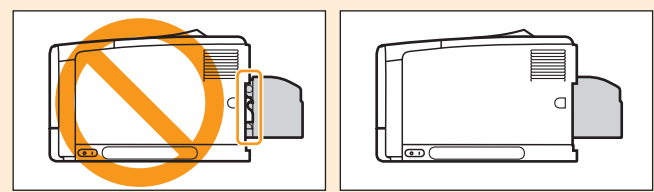
止まる位置まで引き出し、手前を持ち上げて取り外す

両面ユニット

1. 取っ手を持って、両面ユニットカバーを取り外す

2. 両面ユニットを取り付ける

3. しっかりと押し込む

プリンターと両面ユニットの間に隙間を空けない

続いて、次の手順にそって作業を進めます

プリンターとオプションを同時に設置したとき

1. 用紙をセットする P.3
   （ペーパーフィーダーを取り付けたときのみ）
   プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーにも用紙をセットしてください。
2. 電源コードとアース線を接続する P.3
3. プリンターの動作を確認する P.3
4. プリンターとコンピューターを接続する P.4
5. プリンタードライバーをインストールする P.5

オプションをあとから設置したとき（プリンターをすでに使用しているとき）

1. プリンターの給紙カセットをセットする
   （ペーパーフィーダーを取り付けたときのみ）
2. 用紙をセットする P.3
   （ペーパーフィーダーを取り付けたときのみ）
   プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーに用紙をセットしてください。
3. ケーブルやコードを接続する
   取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。

安全にお使いいただくために

本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず付属の「取扱説明書CD-ROM」に収められているユーザーズガイド（PDF）で記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みください。

取扱説明書CD-ROM

マークについて

警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。
  - アクセサリーなどの金属物
  - コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちにプリンターとコンピューターの電源をオフにし（1）、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください（2）。そのあと、電源プラグを抜いて（3）、アース線を取り外し（4）、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- オプション品の取付け／取外しを行うときは、必ずプリンターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンターに接続されているすべてのインターフェイスケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - 雨や雪が降りかかるような場所
  - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インターフェイスケーブルを接続する場合は、ユーザーズガイドの指示にしたがって正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、ユーザーズガイドの指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが引っ張られた状態にしないでください。電源プラグが緩んで接続が不完全になると発熱し、火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、ステイプルなどで固定したり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強くかかると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。以下のような取り扱いは避けてください。
  - 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
  - 電源コードに足を引っ掛ける
  - 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
  - 電源コネクタに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  [アース線を接続してもよいもの]
  - 電源コンセントのアース線端子
  - 接地工事（D種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]
  - 水道管･･･ 配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  - ガス管･･･ ガス爆発や火災の原因になります。
  - 電話線のアースや避雷針･･･ 落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。